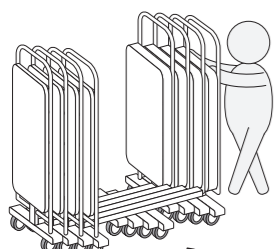
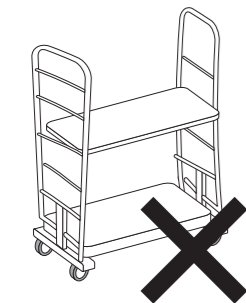


お願い事項

●安全に長期間で使用頂くために次の事項を守ってください。



- 1 使用する前には台車の点検を必ず実施してください。
- 2 荷が台車からはみ出さないようにしてください。
- 3 移動時にブレーキが解除(OFF)されているか必ず確認してください。
- 4 完全に停止するまで手ばなさないでください。壁等に当てて停止させないでください。停止したら必ずパレットを降ろした状態でブレーキを掛け(ON)てください。
- 5 昇降レバーは単独で操作しないでください。パレットの上下に合わせて、レバーも上下します。レバーを単独操作すると台車の移動に支障をきたしたり台車が故障することがあります。
- 6 キャスターの取付ボルトが緩む場合があります。定期的に点検して締め付けてください。
- 7 変形等によって生じた溶接外れの台車を使用しないでください。
- 8 台車を部外者に取扱わせないでください。
- 9 屋外で剥き出しの状態での保管は止めてください。一般の人が出入りする場所での保管は避けてください。
- 10 折りたたんで移動する時は、不安定になるため一度に4台までとしてください。
- 11 集荷状態でのフォーク作業は、台車が不安定になることがありますのでお止めください。
- 12 台車を安全にご利用頂くため、部品交換や修理につきましては、必ず製造・販売元へご連絡ください。
※仕様は予告なしに変更することがあります。



4台まで



製造元
ヤマト・インダストリー株式会社

物流システム営業部 <http://www.yamato-in.co.jp/>

東京営業グループ 〒110-0015 東京都台東区東上野2-14-1
TEL 03-3834-3113 FAX 03-3834-4027

大阪営業グループ 〒541-0047 大阪市中央区淡路町1-4-10森井ビル
TEL 06-6208-3191 FAX 06-6208-3194

2020.01.17

スルーテナーSRC-3,ミニスルーテナーSRC-M 取扱説明書

はじめに

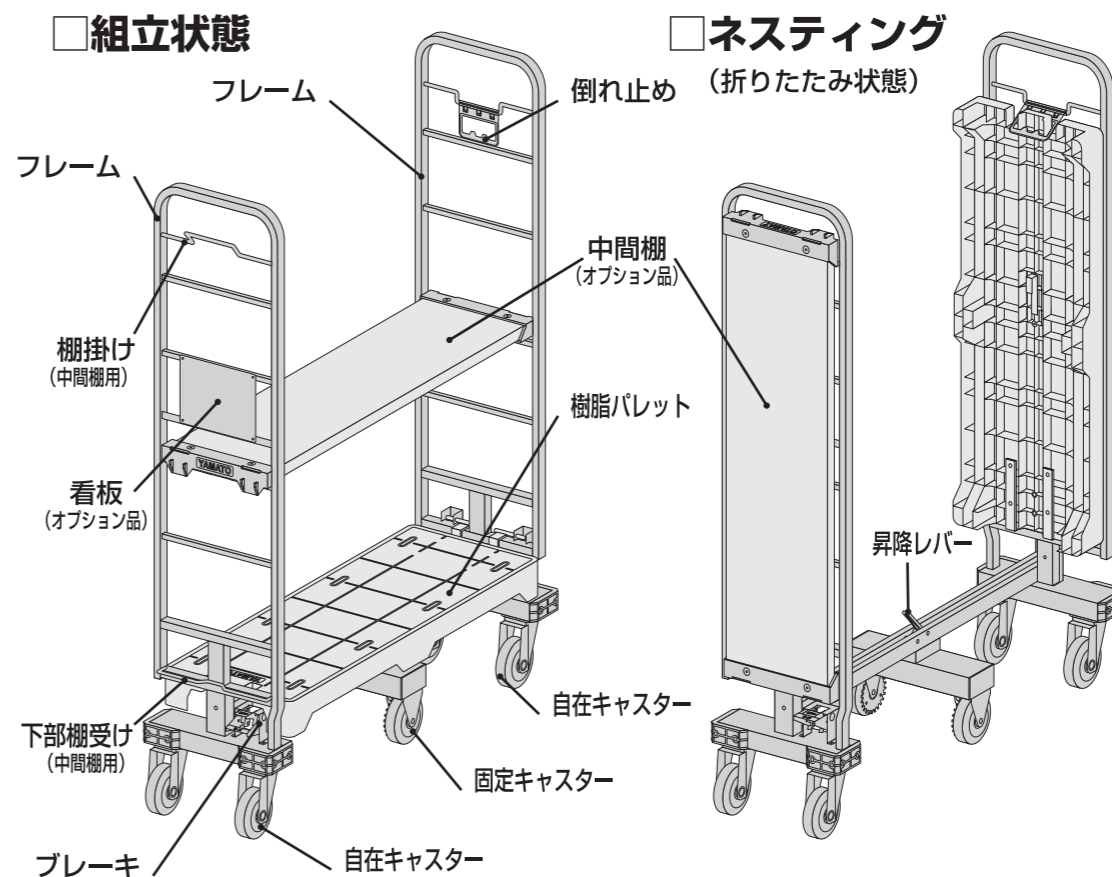
この度は「スルーテナー SRC-3」「ミニスルーテナー SRC-M」をご使用頂き、誠にありがとうございます。

本製品は、数多くの実績がありますが、より安全に長くご使用頂くためにも本取扱説明書に記載されている、警告表示や注意事項を必ずお守りください。

※お読みになった後はいつでも必要なときに取り出せるように、所定の場所に保管してください。

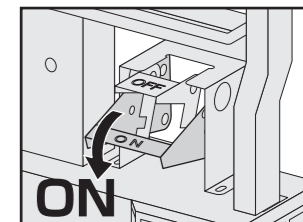
危険	この注意を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定され危険発生時の緊急性が高い内容を示します。
警告	この注意を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
注意	この注意を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および、物的傷害のみの発生が想定されるを示します。

スルーテナーSRC-3

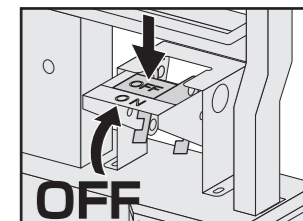


耐荷重400kg
中間棚 耐荷重100kg

ブレーキ操作方法



ONペダルを踏むと、ロック(中央固定車輪にストッパーが掛ります)

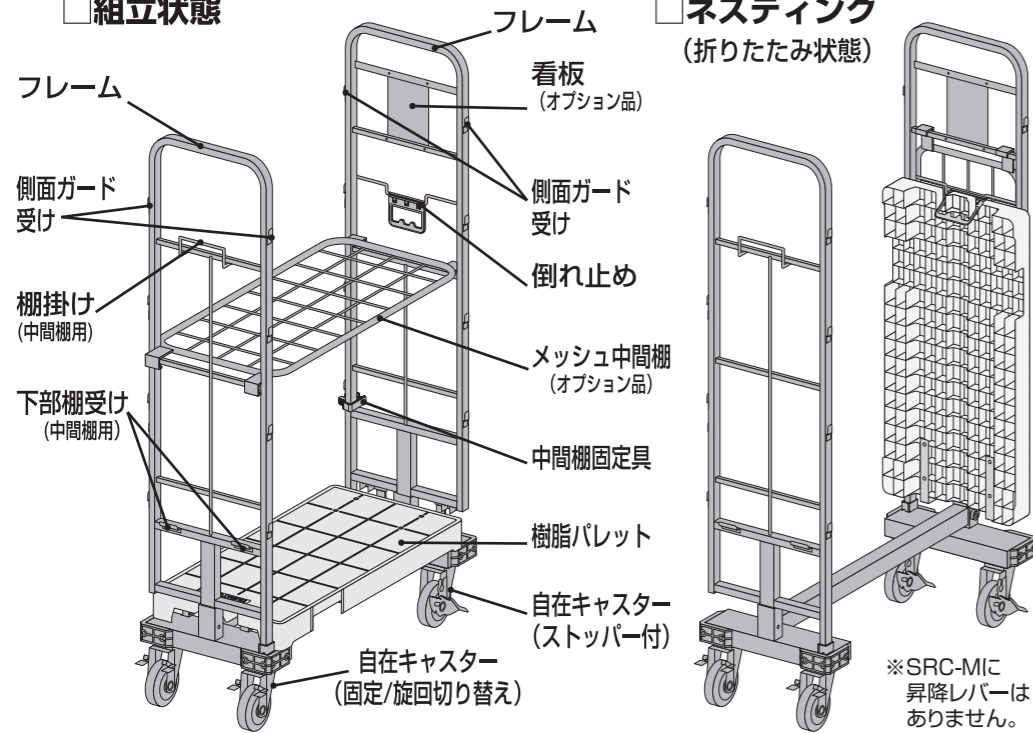


OFFペダルを踏むと、解除(OFFペダルが上がります)

注意 必ず樹脂パレットを降ろした状態で操作してください。

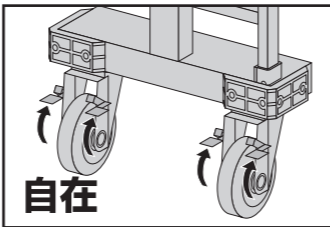
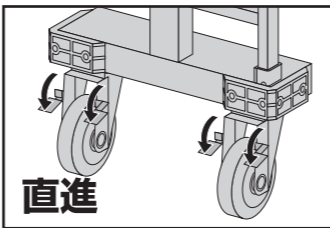
ミニスルーテナーSRC-M

組立状態



耐荷重300kg

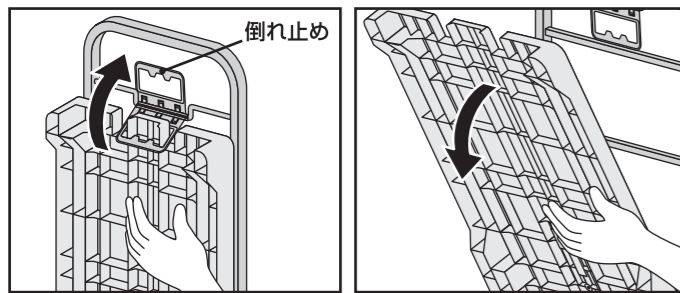
自在キャスター切り替え方法



注意 必ず両輪とも同じ走行状態 (直進・自在) で使用ください。

樹脂パレット展開

樹脂パレット SRC-3、SRC-M共通

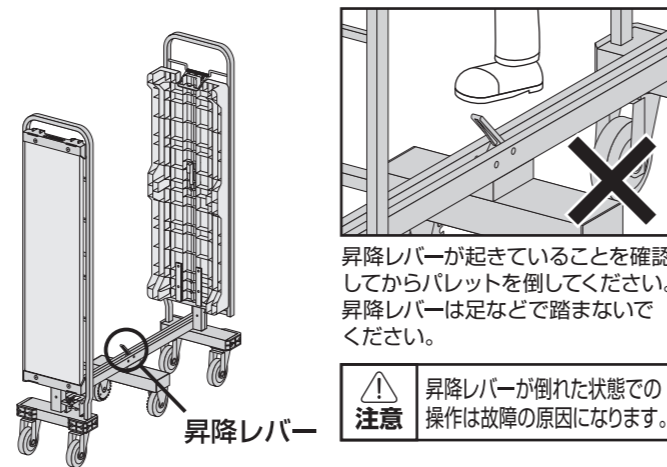


注意 必ず手を添えてください。パレットが倒れて危険です。

注意 パレットを勢いよく倒すと破損の原因になります。

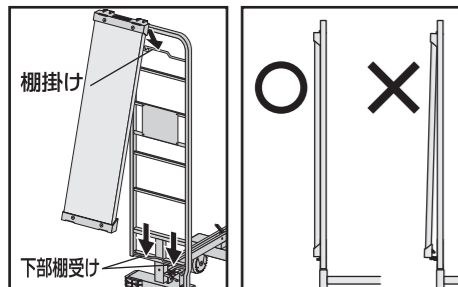
※パレット収納の際は、逆の手順にて作業ください。

昇降レバー SRC-3のみ



中間棚収納

中間棚 SRC-3、SRC-M共通



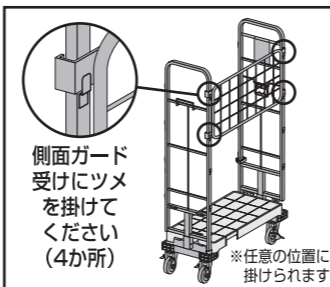
注意 正しく載せないと中間棚の落下の恐れがあります。

メッシュ中間棚 SRC-Mのみ



注意 正しく固定しないとメッシュ中間棚の落下の恐れがあります。

※中間棚、メッシュ中間棚を外す際は、逆の手順にて作業ください。



注意 正しく掛けないと落下の恐れがあります。

警告

台車の安全な荷役・保管・陳列を行う上で、取扱いを誤ると使用者が死亡または重傷を負ったり、台車の破損を招く恐れがありますので1~6を必ず守ってご使用ください

1. 最大荷重

- 台車の耐荷重は製品によってことなりますので、確認の上で使用ください。
- 作業者の能力や床面の条件により積載荷重を調整してください。
- 許容荷重を超えますと作業性が低下したり、台車が破損することがありますので、絶対に止めてください。

2. 傾斜面、凹凸面での移動

- 傾斜面、凹凸面での移動は十分注意してください。
- ブレーキを掛け(ON)ても、傾斜面での放置は絶対にしないでください。
- 凹凸面や段差を無理に乗り越えると台車が転倒することがあります。
- ストッパーは一時的なもので、信頼性がないものと認識してください。
- 万一自走してしまった場合は無理に止めようとせず、声を出すなどして周囲の安全確保を最優先としてください。 **危険**

3. テールゲートリフト作業

- 作業中に操作を誤ると大変危険です、必ずテールゲートリフトの取扱説明書を良く読み、熟知してから作業してください。
- 作業手順を誤るとリフトから台車が落下して、思わぬ事故となる場合があります。
- テールゲートリフト操作が行われている時は、必ず台車から離れてください。 **危険**

4. 本来の用途以外の使用禁止

- この台車は荷役・保管・陳列用として設計、製造されています。それ以外の用途では絶対に使用しないでください。

5. 荷物の積みつけ

- ブレーキを掛け(ON)、下段に重くて大きな物を上段には軽く小さなものを積んでください。
- 上部が重くなっていると、段差、障害物を乗り越える時に、台車が転倒することがあります。

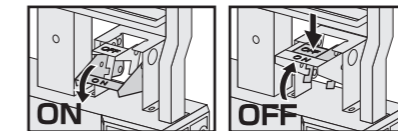
6. 台車の移動作業

- 台車の移動は必ず、両手でフレーム外部の太いパイプをにぎり、前方の視界を確認しながら押してください。
- 傾斜面では斜めに走行したり、台車が回転・転倒することがあります。二人で作業するなどしてください。
- 台車を引っ張って移動すると、パレット板やキャスターに足を巻き込まれて、怪我をすることがあります。
- 倒れ止めを引っ張って台車を移動すると、破損することがあります。

注意

台車の安全な荷役・保管・陳列を行う上で、取扱いを誤ると使用者が重傷を負ったり、台車の破損や物的傷害を招く恐れがありますので7~8を必ず守ってご使用ください

7. 台車のブレーキ <荷物を載せた時にブレーキ操作ができます>



ペダル手間側 ONを踏むと、ブレーキが掛かります。
ペダル奥側 OFFを踏むと、ブレーキが解除されます。

- ブレーキ操作は必ずパレットを降ろした状態で行ってください。パレットを起こした状態でブレーキを掛けると破損することがあります。
 - 台車の走行時以外は必ずブレーキを掛け(ON)てください。
 - 屋外で強い風を受けると、台車が自走することがありますので、必ずブレーキを掛け(ON)てください。
 - 台車が自走しますと、他の人に危害を及ぼすことがあり、財物に損害を与えることがあります。
- ### 8. 配送車への積みつけ
- 荷台上での台車の移動及び転倒防止のため、ラッシングベルト等で必ず固定してください。大型車は必要に応じてラッシング等の固定箇所を増やしてください。
 - 荷台の途中に一時的に台車を放置したり、ラッシング等の固定をしない状態で配送車の移動等はしないでください。
 - 強くラッシングすると、フレームが変形してしまうことがあるので、当て板を使用したり、フレームの下部でラッシングしてください。